部　方　針　書

年度	部名	部長名
R7	総合政策部	古林　学

1　**部の経営方針**（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標）
1	管理・調整部局として、他の部等が円滑に業務を遂行できるよう、何事にも正面から受け止め、全力でサポートする。
2	他の部等、また組織外のステークホルダーとの連携・共創を図りながら、第五次総合計画を着実に推進する。
3	部内各課の連絡・連携体制を高めることで、簡素かつ効果的な行財政運営を推進する。
4	管理職が範となり、大切なことは意見し、やるべきことは進んで実施する「誠実」「情熱」ある職員の育成と、コミュニケーションが活発な活気ある職場環境づくりを進める。
5	忙しく働き、しっかりとプライベートを楽しむことができる職場風土の醸成に努める。
人財育成・内部統制	部次長⇔部内職員（主に異動職員）の1on1ミーティングの実施（４，１０，３月）。②部課長会議＋α（若者リーダー、女性リーダー参加）。 ③一気通貫協議（必要に応じ、部長～担当者の一同で検討・決断）
人財育成・内部統制	①各課行政事務リスク一覧の実践を定期確認（４，７，１０，２月）。②文書主義、決裁区分の徹底（なんとなくで仕事をしない）。③ウェブサイト管理、個人情報保護の徹底（市民との信頼性確保）。④判断材料、根拠の追究（信頼性の確保、EBPM推進）。⑤意思形成・情報の共有と管理。⑥ペーパーレス、カラーコピーレスの推進（コスト意識の高揚）。

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	政策企画課	正司　優子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
将来像の実現に向けて各部・課の施策・事業の実効性を高めていくため、進捗管理や調整、財源確保に向けた支援等を行うほか、社会情勢の変化や提言・要望等に迅速に対応すべく、調査研究や関係機関（庁内含む）との連携調整、企画立案を行う。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	全体最適を意識した持続可能なまちづくりの推進	その他	若年層の社会動態及び住みやすさ満足度	若年層の社会動態（R12）均衡 住みやすさ満足度 90.0%以上	−314人 88.2%	−314人以上 88.2%以上	未来5
2	社会経済情勢の変化に即した実効性のある施策の推進	その他	柔軟性・機動性を持った課題対応	課題に対応した施策の立案・実施	―	―	―
人財育成・内部統制	社会の動向に関心を持ち、機動的・主体的に行動できる職員の育成	―	―	―	―	―	―

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	市史編さん室	馬場　葉子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
宇部市史の編さんを行い、本市の歴史や文化を記録し市民に知ってもらうことで、郷土に対する愛着心や誇りを醸成するとともに次世代へ継承する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	宇部市の歴史を記録に残し、後世に伝えることで、市民がふるさとに愛着心を持ち、誇りに思う。	その他	市史編さん事業進捗率（%）	R16 完成（100%）	25%	33%	―
人財育成・内部統制	資料の正確性の検証や、体系的な分類分け、デジタル化など整理保管においても定期的に監査を行うなど、各メンバーの役割分担や責任を明確にし作業を進めることで信頼性の高い歴史資料を作成する。						

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	移住定住推進課	久保 恵美子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
・まちの魅力や活力の持続に向けた人口減少抑制のための移住促進 ・地方への資金の流れを促進し、新たな本市との関わりを築くためのふるさと納税のさらなる推進 ・「宇部ふるさと大使」との連携をはじめ様々な手法を駆使して、本市の魅力をPRしイメージ・認知度の向上につなげる。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	移住定住サポートセンターでの支援を受けた移住者数の増加	前期実計	移住定住サポートセンターを通じた移住者数 【累計】600人	R8年	【累計】340人	【累計】480人	未来4
2	関係人口の増加 特定財源の確保 宇部産品の売上による市中経済活動の活性化及びPR	総合戦略	ふるさと納税寄附件数 【累計】8,800件	R8年	7,433件	8,000件	
3	本市のイメージ及び認知度の向上に伴い、本市への関心や地域と人との関わりが深まることによる関係人口の増加	前期実計	宇部市の認知度 270位	R8年	306位	275位	
人財育成・内部統制	リスク意識を強く持ちながら、効率的に業務を進める環境づくり						

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	行革推進課	鹿崎淳一

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
・第五次宇部市総合計画の「効果的な行政運営システムの構築」に向け、限られた行政資源で最大の政策効果を発揮するため、事務事業の見直しをはじめとした行財政改革を推進する。 ・政策効果の高い事業を実施し、市民の満足度を高めるため、エビデンス(合理的根拠)に基づき政策立案するEBPMを推進する。 ・統計調査業務を適切に実施するとともに、得られたデータの分析・活用を推進する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	持続可能な行財政運営と質の高い行政サービスの提供	個別計画(宇部市行財政改革推進計画)	未来投資のための事務事業の見直し効果額(一般財源・単純累計)	R4～R8 5億円	R4～R6 4.11億円	R4～R7 5.11億円	未来5
2	使用料・手数料の見直しの推進	その他	使用料・手数料の検証	全ての方向性決定 見直し完了	ー	全ての方向性決定 見直し一部完了	ー
3	国勢調査の円滑な完遂	その他	完遂	R7完遂	ー	完遂	ー
人財育成・内部統制	自治体職員として基本となる法務、財務の知識に加え、行革の知識、統計分析スキルを活用できる職員						

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	連携共創推進課	藤田　美佐子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
多様化複雑化する住民ニーズに地方自治体が単独で対応していくことが困難となってきているなか、多様な主体が、地域の現状分析や課題の設定段階から連携し、地域の将来ビジョンを共有して取り組む「共創」を推進する。 また、共創パートナーである市民、団体、企業、教育機関、他行政等との連携を強化し、効果的に事業を推進する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	共創の手法を取り入れたロールモデル事業を積極的に推進し、各事業を効果的に進める「共創によるまちづくり」を展開していく。	個別計画（共創の指針）	共創のロールモデル事業の実施件数（件）【累計】	（R8年度）10件	6件	8件	－
		個別計画（宇部市行財政改革推進計画）	うべポイント事業の登録者数（人）	（R7年度）5,000人	2,485人	5,000人	未来4
2	高等教育機関等が多い市の特性を生かして、学生と共に地域課題の解決や活性化を図っていく「日本一学生が活躍するまちづくり」に取り組む。	総合戦略	学生による提案事業の実施件数（件）【累計】	（R8年度）2件	―	―（提案件数：3件）	未来4
3	本を通じて、多様な世代・価値観を持つ人が出会い、学び、楽しむ市民交流の拠点「まちライブラリー」の開設。	－	年間利用者数（人）	50,000人	―	―	未来4
4	山口県央連携都市圏域ビジョンが示す「圏域が目指す将来像」を実現することで、圏域全体の更なる活力へとつなげ、本市の地域課題の解決へ寄与する。	個別計画(第2期山口県央連携都市圏域ビジョン)	第2期山口県央連携都市圏域ビジョンの推進	第2期ビジョン関連事業の円滑な実施(各指標の達成)	―	関連事業を円滑に推進するとともに適宜見直しを行う	－
人財育成・内部統制	・各自が担当業務の進捗管理を適切に行い、自己研鑽に努める。 ・課内の心理的安全性の確保に努め、必要な協力体制が取れる状態にする。		各人が年度内に外部研修を受講（回）、課内共有			外部研修への参加 各自1回	

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	財政課	入江　慎一

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
・持続可能な財政運営に向けた財政規律の保持と施策推進のための財源確保

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	持続可能な財政運営の確保 （公債費の抑制を図ることで義務的経費が縮小し、市民ニーズに応えるための施策的事業に配分額を増額できる。）	前期実計	一般会計地方債残高【億円】	659億円 （以下）	660億円	670億円	－
2	持続可能な財政運営の確保 （少子高齢化により、今後税収減、社会保障費増が見込まれる。さらに、新庁舎建設事業等に係る地方債の償還が本格化することにより、基金残高の大幅な減少は避けられないものの、公共施設マネジメントの推進など、中期財政見通しによる財源不足を補う金額は確保する。）	前期実計	財政調整基金残高【億円】	30億円 （以上）	44億円	32億円	－
人財育成・内部統制	適正な財務事務の確保	その他	財務事務に関連する不適切事例の減少	－	－	－	－

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	秘書課	松田映子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
市長・副市長の秘書業務 市長会等を通した国や県への要望

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	質の高い秘書業務の実施		市長・副市長が円滑に公務を遂行できるか（調整と準備が的確か）	的確な調整と準備	－	的確な調整と準備	―
人財育成・内部統制	（人材育成）・スケジュール管理やアポイント調整など、基本業務を正確かつ迅速に遂行し、現状の把握を的確に行い、柔軟な対応ができるスキルを向上させる。 （内部統制）・限られた時間内で効率よく業務を確認し、正確にミスなく実行する。						

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	広報広聴課	三好きみ代

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
共創によるまちづくりを進めるため、自治体経営や地域課題について行政と市民が常に情報を共有し、共に考え、行動できる環境づくりが必要である。 そのため、「広報うべ」をはじめとする様々な広報媒体を使い、わかりやすく、「伝わる」市政情報を発信する。 また、市民から広く市政についての課題や提案・意見等を聴取し、市政に反映することを通して市民満足度の向上につなげる。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	職員一人ひとりが、「全員広報・全員広聴」のマインドを持ち、市民の生活に必要な情報を必要なタイミングで分かりやすく発信する。また、市民の「知りたい情報」へのアクセス性を高めていくなど、広報媒体を通して安心安全で満足度の高い暮らしを実現する。	個別計画(行財政改革推進計画アクションプラン)	市政情報がわかりやすく提供されていると思う割合	80.0%	51.50%	77.50%	未来5
2	市のビジョンや取組が広く市民に伝わることで、市民が市政に関心を持ち、市民と行政が連携する共創によるまちづくりが進む	個別計画(DX推進計画アクションプラン)	市公式LINE登録者数	40,000人	33,023人	37,000人	未来5
3	市政に関心を持つ市民が、まちの経営を自分事として考え、市と共に問題を考え、解決していき、みんなでつくる宇部市になる	その他	市民の意見がまちづくりに反映されていると思う割合	－	21.10%	30.00%	－
人財育成・内部統制	まずは自分自身が自分の人生を丁寧に生きる。そして、楽しんで仕事をする姿、勇気を持ってチャレンジする姿、失敗した時にはリカバリーしていく過程等、等身大の自分の姿を見てもらい、部下の成長及びスキルアップにつなげる						

課　方　針　書

年度	課名	課長名
R7	北部地域振興課	荒武　則弘

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由
・多様な主体と共創し、北部地域の課題解決を推進する ・北部地域の魅力を広く発信し、認知度向上と交流促進を図る ・地域住民の自発的な活動を促進し、コミュニティの維持・活性化を図る

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	・地域住民や団体が主体的に連携・協働できる仕組みづくり	前期実計	地域計画に基づく新たな取組支援件数（累計）:R8 ※北部6地区	60件	40件	48件	―
2	・地域資源を活かした、住み続けたい・訪れたいと思える魅力ある地域の形成	その他	「うべKITAまつり」の来場者数（単年度）	3,500人	3,500人	3,500人	未来4
			移住希望者相談件数（単年度・北部地域）	20件	12件	15件	―
3	・北部地区の既存施設を利活用し、魅力ある体験と交流の場を創出	その他	アクトビレッジおの来場者数	R7年度中設定	43,000人	―	未来2
			旧楠庁舎跡地活用	整備完了	地域による利活用素案作成	解体設計	―
人財育成・内部統制	人財育成 ： 地域に寄り添う「共創型職員」の育成 関心・理解、実践・協働、主体的に共創をリードできる力 内部統制：業務の属人化を防ぐチーム運営 業務が集中せず、チームでカバーし合える体制	―	―	―	―	―	―